

新しい福祉のかたちを実現

■いよいよ4月にオープンするが、今の率直な思いは

伊藤市長…ここから新しい福祉のかたちが始まることの期待感でいっぱいです。

山中会長…これまでにない新しい挑戦と、さらに利用者やご家族、地域の皆さんに喜んでいただくための使命感にあふれています。

内藤支店長…市、社協と桑名の発展につながる大きな仕事に携わることができてうれしく思っています。

■福祉ヴィレッジに期待することは

伊藤市長…これまでの福祉施策は、子ども、高齢者、障害者など対象者や分野ごとに縦割りで提供してきました。桑名福祉ヴィレッジでは、そのサービスを包括的に提供することで、地域で誰もが支え合う「地域共生社会」が実現できることを期待しています。

山中会長…福祉サービスを利用いただくだけでなく、誰でも気軽に訪ねていただける、市内のくつろぎス

ポットになることや、マルシェなどの多世代・多文化イベントを通じ、まちのにぎわいスポットにしていきたいと考えています。

内藤支店長…新しい福祉のかたちをハード面から支えるために、地域の人や施設利用者が交流しやすくなるようなレイアウトとしました。そのため福祉施設の周囲に芝生広場・散策路・地域交流施設・店舗を配置することで、適切な距離感を保ちながら、施設が自然と地域に溶け込み、多くの人に利用されることを期待しています。

桑名福祉ヴィレッジが 見据える世界

新しい福祉のかたち「桑名福祉ヴィレッジ」に携わった桑名市、桑名市社会福祉協議会、大和リース株式会社の代表者に、それぞれの思いを聞きました。



桑名市長
伊藤 徳宇

桑名市社会福祉協議会
会長
中山 啓園さん

大和リース(株)
三重支店長
こうじ
内藤 浩次さん

公民連携の豊富な実績に基づき、設計・施工を一括で行うことで、工期短縮とコスト削減が実現できました。

この場所から、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる地域共生社会の実現をめざします。

地域とともに支え合う社会

■どのような施設にしていきたいか

伊藤市長…両者から提案を受けた時、本当にわくわくしました。4つの施設が1つにまとまるだけでなく、同時に公園を併設し、地域の人も一緒に楽しめる場所にするという提案は行政だけではなかなかできません。また、地域の人が交流できる施設と店舗も併設され、施設の人だけでなく地域の人も利用できることで交流が生まれ、お互いが支え合っ

たにしていきたいと思えます。

山中会長…「誰もがつながる」をコンセプトに、年齢、国籍、障害の有無に関わらず、自然に交わり、一緒に過ごすのが当たり前の場所、一人ひとりの多様なオモイ(夢)がかなう(来う)場所にしていきたいと考えています。

内藤支店長…今後、いろいろなイベントなどを開催していただき、多くの人に桑名福祉ヴィレッジを知ってもらえたらと思います。

桑名福祉ヴィレッジの魅力

養護老人ホーム、母子生活支援施設、保育所、児童発達支援センターなどを複合化し、子どもから高齢者までが一緒に生活することで多世代交流が期待できるこれまでにない施設です。さらに、ヴィレッジ公園には、地域の人が交流できるヴィレッジセンターや地元のもが購入できる店舗もあります。施設を利用する人だけでなく、地域の人たちも利用でき、地域交流が生まれることも大きな魅力です。



■5月号・6月号も特集します！
広報くわな5月号では、4月にオープンした時の様子や各施設についてなど桑名福祉ヴィレッジの詳細を紹介いたします。6月号では、巻頭特集を組み、実際施設を利用する人やそこで働く人、地域の人との交流など桑名福祉ヴィレッジを大解剖します。お楽しみに！



桑名福祉ヴィレッジは、市社会福祉協議会が運営する多世代共生施設「らいむの丘」と市が所有する「ヴィレッジ公園(やまざきパーク)」で構成されています。また、店舗「らいむショップ」も併設され、地域の交流の場としても活用されます。



問 福祉総務課
24・1228 FAX 24・1351
問 秘書広報課
24・1492 FAX 24・1119